

平成 25 年 6 月 25 日

東京都水道局長 様

名勝 小金井桜の会

会長 石田 精

NPO 法人 小金井桜を復活する会

理事長 日並 洋



名勝小金井桜復活事業に係るモデル地区終了後の植樹事業について

日頃、名勝小金井桜の復活事業にご協力いただき感謝申し上げます。

お陰さまで平成 22 年度から 3 カ年計画で実施した、新小金井橋から関野橋の間 640 メートル区間のモデル区間整備事業は完了し、新たに小金井桜後継樹の苗木 95 本が植栽されて今年は早くも可愛らしい花をつけました。

近隣のお住まいの市民及び玉川上水を散策する皆様からも概ね好評に受け取られ、一日も早い名勝に相応しい小金井ヤマザクラ並木の復活が待ち焦がれているところです。

貴水道局におかれましては、現在今年の玉川上水護岸保護の為の雑木伐採の計画を進めているところと存じます。

本来ならば名勝小金井桜復活事業の関係組織である東京都教育庁・地元自治体の小金井市・当会との間で調整の上で要望すべき事項ではありますが、現状では早期にその機会を得ることが困難な状況にあり、それを待っていると貴職の作業計画に支障をきたすこととなるのではないかと懸念しております。

そこで育苗ファームで後継樹とすべき苗木を丹精込めて育成し、植樹可能な状態に成長した幼木を当会といたしましては、モデル区間に引続き植樹いたしたく、その用地として下記の区間の用地提供をお願いしたいと考えておりますのでよろしくご検討下さいますようお願いいたします。

記

1、 小金井桜復活の為の用地提供をお願いしたい区間

「関野橋」から「梶野橋」の区間 420m 両岸のフェンス内側部分

理由：関野橋から梶野橋の間は、他の地区と比べて雑木の繁茂が激しく、そのためこの区間の小金井桜の茎葉が五日市街道並びに上水通りの道路上に押し出される形で張り出しております。その結果信号機の表示が枝葉に隠れて確認が困難となり、また、たびたび大型車が枝に接触し折損落下して交通障害が発生しております。

このことから一日も早く雑木を伐採してほしいとの陳情が今年 3 月の小金井市議会に提出され、全会一致で採択されたことを受け、当会ではこの区間を他の区間に優先して雑木伐採及び小金井桜復活植樹の場所とすべきであると決定しました。

2、 小金井桜後継樹の植樹予定本数

「関野橋」から「梶野橋」の区間 420m の左岸・・・43 本(予定)

「関野橋」から「梶野橋」の区間 420m の右岸・・・43 本(予定)

以上